事例No.	1461
公表年度	R3
団体の属性	町村
団体名	奈良県野迫川村

事例区分	行政改革

タグ	・公共施設活用 ・移住定住

事例種類	公共施設の効果的活用

事例内容・タイトル

廃校を利用した移住・定住促進施設への指定管理者制度の導入

出典

地方公共団体における行政改革の取組（令和４年３月公表）

廃校を利用した移住・定住促進施設への指定管理者制度の導入＜奈良県野迫川村（人口約4百人）＞

○村内の廃校を活用して**移住・定住促進施設**を整備し、指定管理者制度を導入
○当該施設により**移住・定住希望者が地域住民と交流しながら村での生活を体験することが可能**
○また、指定管理者が**施設内に設けられた空き家相談窓口も運営**しており、**体験者の空き家への移住支援**を併せて行う

＜廃校を利用した移住・定住促進施設の活用＞

課　題

○急速な人口減少が進み、過疎化、人口の高齢化が課題となっている
○村への移住・定住を希望する者がいたとしても、村に関する情報がないため暮らしのイメージが持てない、また、賃貸住宅等が無いため住む場所を見つけることができないなど、村での暮らしを始めるに際し支障があった

取　組

○**村内の廃校**を利用し、**移住・定住促進施設**として整備し、地域活性の活動に取り組むＮＰＯ法人を指定管理者として指定
○実際に住み、村での暮らしや気候を体感し、地域住民と触れ合い、村の魅力などを身近に感じることができる環境を整備。村の清掃活動や区の自治会活動に参加するなど、**地域住民とのつながりを体験できる生活**が可能
○**指定管理者が移住者向けの空き家相談窓口を運営**しており、**体験者への空き家への移住・定住支援**を併せて実施


＜移住・定住促進施設「ぶなの森」＞

成　果

○指定管理者が地域住民と交流しながら居住できる移住・体験促進施設を運営し、**体験者の多くから高い評価を得ている**（令和３年度は１名が移住する見込み）
○指定管理者による移住・定住支援の結果、村内の空き家問題の解決にも寄与


＜施設内でのテレワークの様子（イメージ）＞